

1.法人単位の資金収支の状況

項目	金額(千円)
(1)事業活動資金収支差額	2,325
①事業活動収入	134,165
・介護報酬等の公費(※)	
・利用者負担金(※)	
・その他収入	
②事業活動支出	131,839
・人件費支出	94,538
・事業費支出	18,688
・利用者負担軽減額	
・その他支出	18,613
(2)施設整備等資金収支差額	▲ 3,226
①施設整備等収入	0
・施設整備補助金等の公費	
・その他収入	
②施設整備等支出	3,226
(3)その他の活動資金収支差額	1,190
①その他の活動収入	15,313
②その他の活動支出	14,123
当期末資金収支差額	289
前期末支払資金残高	12,622
当期末支払資金残高	12,912

(※)医療事業収入分を除く。(社会福祉法人新会計基準の勘定科目上、算出できないため。)

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

2.法人単位の事業活動の状況

項目	金額(千円)
(1)サービス活動増減差額	▲ 3,890
①サービス活動収益	131,665
②サービス活動費用	135,555
減価償却費	12,341
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 6,801
その他サービス活動費用	130,015
(2)サービス活動外増減差額	2,211
①サービス活動外収益	2,500
②サービス活動外費用	289
(3)特別増減差額	▲ 199
①特別収益	0
②特別費用	199
当期活動増減差額	▲ 1,878
前期繰越活動増減差額	65,313
当期末繰越活動増減差額	63,434
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	12,856
その他の積立金積立額	13,200
次期繰越活動増減差額	63,090

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

3.法人単位の資産等の状況

項目	金額(千円)
(1)資産の部	219,771
①流動資産	36,126
②固定資産	183,645
(2)負債の部	36,007
①流動負債	25,247
②固定負債	10,759
(3)純資産の部	183,764
減価償却累計額	97,983

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

4.積立金の状況

貸借対照表上の積立金の勘定科目	積立目的	本年度末時点の積立金額(千円)	積立計画の有無	積立目標額(千円)	施設整備の場合		
					整備事由	整備時期	整備対象施設名
人件費積立金		9200					
修繕費積立金		2200					
保育所施設・設備整備積立金		6000					

5.関連当事者との取引の内容

種類	法人等の名称	住所	資産総額(千円)	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
						役員等の兼務等	事業上の関係				

6.地域の福祉ニーズへの対応状況

事業概要	実施の有無	事業開始年度	本年度支出額(千円)
1 介護保険、障害福祉サービス等における低所得者の利用者負担減免			
2 地域の単身高齢者等を対象とした見守り・配食サービス等の実施			
3 地域の単身高齢者等を対象とした各種相談事業の実施			
4 災害時における各種支援活動の実施			
5 貧困・生活困窮者等を対象とした住宅の斡旋、食事提供等の生活支援の実施			
6 他法人との連携による人材育成事業			
7 その他 (土曜教室:小学生対象。毎週土曜の行事、夏のキャンプなど実施)。ハローキッズサークル:就学就園前の子育て親子の場を設定。毎月1回実施。キッズカルチャー及びアフタースクール:小学生の放課後児童クラブに相当する事業を実施。グランマーバクラブ:月1回。地域の高齢者と園児の交流を実施。サマースクール:児童福祉の関心をもっていたための事業。夏の期間高校生、専門学校生に保育体験の場を提供している)	○	毎年度	—

(注)「本年度支出額」については、当該事業に対する費用として、明確に算定出来る場合に限り記載しており、明確に算定出来ない場合は「—」を記載している。

